

平成 29 年度 第 3 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録

日 時 : 平成 29 年 11 月 15 日(水) 14 : 30~15 : 20

場 所 : 本部棟 5 階 大会議室

出席者 : 松浦 晃幸委員長, 巢山 弘介, 大橋 泰夫, 塚田 真也, 佐藤 鮎美,
中務 明, 管原 庄吾 (田中委員代理), 岩瀬 峰代, 濱田 太 (塩田委員代
理), 中村 浩之, 鈴木 修二, 川尻 秀行, 周藤 義男, 小泉 祥子, 横山
龍巳, 篠森 好 (小松委員代理)

欠席者 : 小池 誠, 桜井 浩

陪 席 : 金本 瞳, 青戸 準

事 務 : 渡部 博之, 百合澤 彰, 安立 陽子, 小澤 崇良, 上野 和将,
木村千寿子

確認事項 :

○平成 29 年度第 2 回 EMS 改善委員会議事録の確認

委員長より, 事務から予め送付していた議事録 (案) について, 10 日までに特に意見等はなかった。改めて意見の有無について確認したが, 特に意見はなく原案どおり議事録を確定した。

議 題 :

1. 島根大学における節電の取組実行計画 (冬季) の策定について

委員長より文部科学省大臣官房文教施設部長より依頼のあった「冬季の省エネルギーの取組について」を踏まえ, 本学における節電の取組実行計画 (冬季) の案を作成した旨説明があった。

エネルギー管理員より昨年度からの主な変更点と併せて報告事項 1 「平成 29 年度夏季の電力使用量実績について」以下のとおり説明があった。

・節電の取組実行計画 (冬季) 案について

使用電力量の削減目標として, 今までは政府の示す電力需給対策の基準年が 2010 年度であったため, 基準年として設定していたが, 基準年の設定が無くなったため, 削減目標を前年度比とし, 1%の削減を目指すこととした。

契約電力を 2,996kW から 3,012kW へ修正。

夏季と同様, 目詰まりした空調フィルター清掃等の節電取り組みを行うことその他, 設備機器更新による節電での目標達成を目指す。フィルター清掃については実施の確認を行う。

・夏季の電力使用量実績について

平成 29 年度夏季 (7 月~9 月) の使用電力量実績について

夏季の節電目標は前年度比で 1 %の削減としていたが, 今夏の実績は前年度比 2 . 7 9 % (2010 年度比 1 1 %) 削減することができた。

これは, 空調フィルター清掃等の省エネ取り組み及び L E D 照明等の設備更新により, 達成できたと思われる。

委員より節電を呼びかけるポスターについて, EMS の観点から CO₂ の削減 (杉の木

の何本分等) についても入れたほうが良いとの意見があり、反映することとした。

審議の結果、承認された。今後 11 月役員会及び 12 月教育研究評議会において委員長より報告する。

報告事項 :

1. 平成 29 年度夏季の電力使用量実績について
議題 1 とあわせ報告を行った。

2. 学長マネジメントレビューについて

委員長より、学長マネジメントレビューを 8 月 8 日に行った旨説明があった。

巢山副委員長より、以下のとおり報告を行った。

- ・最初に部局から提出された実施内容報告書等より昨年度の EMS 活動、昨年度のマネジメントレビューでの学長からの見直し事項へのフォローアップ結果、評価のための専門委員会において出された意見(大学の中期目標と EMS 活動の PDCA の連動)について等を報告した。

- ・次に学長からの見直し結果について、「目的及び目標の変更及び改善の必要性」の項目では既に取り組んでいる EMS 活動には大学全体での中期目標・中期計画に関連している事項があるので、EMS 独自で回している PDCA だけでなく大学全体での PDCA に取り入れるようにする。

「環境マネジメントシステムのその他の要素」の項目では EMS が特別な存在というイメージがあり、普段行っている教育研究活動等が実は EMS に関連していることに気づいていないというケースもあると思うので、それが分かるように情報提供に努める。また、各部局の活動が前年度より前進していくと良いとの指示があった。

委員長より中期目標・中期計画については EMS に関連する事項について、更に具体的な取組に書き込んで構成員全体に周知していく必要がある。年度ごとに立てる年度計画等に電力使用量など、現在取り組んでいることを書き込み、大学全体の取組であることを構成員に周知していきたい旨の発言があった。

3. 環境報告会について

委員長より、本学の環境活動の内容を知っていただくために 10 月 10 日「環境問題通論 B」のなかで環境報告会を開催した旨説明があった。

巢山副委員長より、以下のとおり報告があった。

- ・今年度は松江キャンパスからは学生 EMS 委員会委員より「学生 EMS 委員会の活動報告」を行い、続いて医学部附属病院 EMS 対応委員会診療系作業部会責任者 西村准教授より「医療マネジメントにおける ISO14001 の意義」について報告があった。
- ・報告会の内容について、資料のとおり受講生に行ったアンケートについて、また終了後アンケート(感想)のなかからいくつか紹介された。

委員長より食堂の冷房関係については、生協へ要望を伝えることが可能かとの発言があり、事務局より生協へこのような意見要望があったため、可能であれば検討をお願いしたい旨を伝えることとした。

委員より環境報告会の取組について、アンケートにあった報告会の満足度について、「満足しなかった」の回答の理由を分析されているかとの質問があり、巢山副委員長より、出雲キャンパスの報告内容について普段聞けないような内容で新鮮で面白かったという意見の反面、内容が専門的な部分もあり理解が難しい面があったためではないかとの説明があった。

委員長より改善委員会委員である学生 EMS 委員に意見を求められ、環境報告会でグリーンカーテンの取組など学生 EMS 委員会の活動を知っていただく機会になり学生にも関心を持っていただき良かったとの意見があった。

4. 松江キャンパス落ち葉清掃について

事務局より、毎年実施している落ち葉清掃について11月16日(木)に実施するため、協力を依頼した。

委員長より、参加する学生にはメリットがあるのかとの質問があり、事務局よりビビットポイントが付与される旨説明があった。

5. その他

学外委員より、EMS 活動について、教職員、学生への周知はどのようにされているかとの質問があり、委員長より大学として、具体的には本委員会などを通じて各部局の委員が教授会等で周知をされる。関心の強弱は個々にもよるが、啓発を行い、理解をしてもらうように進める必要がある旨説明された。巢山副委員長より学生には新入生ガイダンスの際に学生 EMS 委員会より学内の環境関係のルールについての説明や環境副専攻や、課外活動を通して様々な活動を知ることができる仕組みがあるとの説明があった。

また、ビビットポイントとは何かとの質問もあり、巢山副委員長より様々な正課外の活動に対してポイントが付与され、生協などで換金して利用ができたりする旨説明された。

委員より、島根大学の卒業生の方たちに聞くと、十数年前に比べるとかなり環境整備がされていると必ず言われる。今は当たり前になっているが、それは今までの積み重ねによるもので、現実はかなり良くなっている。ただ、活動していることをもう少しアピールや意識付けすることが大事だと思う。中期目標・中期計画などせっかくやっていることを文字に残すことを毎年度したほうがよい。今後委員会で示してもらえればと思うとの意見が出された。